



# 始業式講話（放送）

4月6日（月）

いよいよ今日から、令和2年度の学校生活が始まります。

「いよいよ」というより「やっと」という感じでしょうか。

本来の春休みに加えて臨時休校も合わせると約40日、夏休みにも匹敵する長さでした。

2月28日の集会でも注意点をお話ししましたが、この時期に何ができたか、何を考えたかを振り返ってみてください。そして今後の自分の行動や成長に繋げてほしいと思います。①自宅学習は計画通り進んだでしょうか。②部活ができないことをどのように受け止めていたでしょうか。③読書をする時間をつくれ了吗か。

この3つの質問に自信を持って「YES」と言える人は、自己管理能力が非常に高い人だと思います。大いに自信を深めてください。やる気はあっても行動に移せずに、反省点ばかりの人もあるかもしれません。程度の差はあっても思い通りにいかなかった人のほうが多いと想像します。

このような想定外の出来事は、ピンチであると同時に、チャンスであるという見方もできます。皆さんを成長させるきっかけにすることができます。大切なのは、そのことに気付けるかどうかです。

今回のことで、家庭のありがたさ、家族の大切さはもちろん、学校や友人や先生方の存在について改めて気づくことがあったはずですが、よく言われることですが、人は一人では生きていけない、支えあっているということが、実感できたのではないのでしょうか。繋がっているということによってどれほど勇気づけられることなのか、大切なのかを考えてください。

私たちは今、下妻一高という船に乗って、荒波を超えながら進んでいます。これから先にも平穏な時ばかりではないでしょう。こういう時にこそ「為桜魂」と言われる心の強さ、仲間との絆を強くして乗り越えていきたいと強く思います。

そのために、今年度も「文武不岐」の精神を持って学校生活に励むことを皆さんに求めます。学習を中心にしながらも部活動とのバランスをとって活動していきましょう。

定期戦について、今年度は、実施しません。ポストン研修の募集も今年度はしません。本校の伝統行事でもあり、非常に残念です。今後も学校行事については、実施できるか検討していきます。運動部の活動にも大きな影響が出ています。

今できることを精一杯やるしかないのです。それ以外はありません。後で10やるのではなく、とりあえず今日2でも3でもやってみることが次につながるのです。

こういう時にこそ、自ら考え行動することが求められています。指示を待つのではなく自ら課題を発見して行動してください。今できていることを当たり前と考えず、一期一会の精神で、今この時を大切に過ごしていきましょう。